

平成 25 年度 (2013) 年度

事業計画書

自 平成 25 (2013) 年 4 月 1 日
至 平成 26 (2014) 年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

平成 25(2013)年度 公益財団法人岩手県国際交流協会事業計画

基本方針

当協会は、平成元年の設立以来岩手県の国際交流を推進する中核的民間組織として、国際交流・国際協力・多文化共生に関わる事業を展開している。また、平成 23 年 4 月に当協会が公益財団法人へ移行する直前に東日本大震災津波が発生したことから、震災直後から震災被災者の支援にも取り組んできた。

震災発生から 2 年が経過したが、今なお多くの被災者は応急仮設住宅等での不自由な暮らしを余儀なくされており、被災地の多くの地域では国際交流関係団体の活動も再開できていない状況にある。引き続き、被災外国人等の相談に対応するとともに、被災地の国際交流団体の活動を支援するなど、震災被災地復興の支援に取り組んでいかなければならない。

このため、平成 25 年度においては、以下の 4 本柱により事業に取り組んでいくこととする。

日本人県民と外国人県民が理解しあい地域社会の構成員として共に生きる地域社会を築いていく「多文化共生社会の地域づくり」

本県が有する様々な価値や魅力を国内外に発信し、交流人口を増やすとともに、異なる文化との交流を通じて、本県の文化の再認識や地域課題の解決に向けた知恵の創造を図る「交流による地域づくり」

これからの日本そして国際社会にとって、地域課題のみならず地球規模の課題について理解を深め、その解決に向けて活躍できる国際感覚豊かな人材を育成する「次代を担う人づくり」

東日本大震災の被災外国人等の生活全般に関する様々な相談に対応するとともに、被災地の国際交流団体の活動を支援する「震災被災地復興の支援」

また、東北全体の復興の象徴となるプロジェクトである国際リニアコライダーについては、この夏にも国内候補地一本化の動きがあることから、当協会においても、北上山地が建設地として選定されるよう国内外に情報を発信するとともに、各種事業において国際リニアコライダーを意識して実施するなど、誘致活動に積極的に取り組むこととする。

なお、事業の実施に当たっては、岩手県の「いわて県民計画」、「岩手県多文化共生推進プラン」、「岩手県東日本大震災津波復興計画」において当協会に期待されている役割を踏まえながら、県内外の行政機関、民間国際交流団体等と緊密な連携の下、効果的に進めていくこととする。

事業計画

1 多文化共生の地域づくり

(1) 情報提供

多言語ホームページによる情報提供

協会ホームページ（モバイルサイト、ブログ、facebook、twitter を含む）により、多言語で、在住外国人への生活情報、国際交流団体の活動情報等を迅速に発信する。また、同様に海外に向けても岩手の情報を発信する。特に、国際リニアコラーダー（ILC）誘致促進のために関連情報を随時発信する。

URL : <http://iwate-ia.or.jp/>

<https://www.facebook.com/iwateia02>

https://twitter.com/iwate_kokusai

言語；英語、中国語、韓国語、日本語

多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行

県内外の国際交流・協力・多文化共生のイベント情報や外国人への生活情報などを掲載した英語及び中国語版、日本語版の国際交流情報紙「jien go」を隔月発行する。

また、ホームページにも掲載し、バックナンバーも含め閲覧できるようにする。

発行部数：英語・中国語版 2,500 部 / 回、日本語版 3,500 部 / 回

発行回数：6 回 / 年（隔月）

(2) 日本語学習支援

日本語サポーターの登録・育成と活用 **重点**

ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の様々な日本語学習ニーズに対応できるよう日本語サポーターの登録を行い、日本語学習支援の依頼に適した日本語サポーターを紹介する。

登録者目標値：175 名

イ 日本語教室開設研修会（県補助）

在住外国人の日本語学習機会の拡大を図るため、市町村国際交流協会等との協働により、地域で新たに日本語教室を開設することを目的とした研修会を開催する。

この研修会は、日本語教室で日本語サポーターとして活動する方々を対象として開催し、日本語サポーターに必要な知識や能力などを習得する。

開催場所：釜石市（予定）

研修回数：16 回（予定）

ウ 日本語サポーター実践者研修会

県内で日本語サポーターとして活動している方々を対象としてスキルアップを図ることを目的に実践者研修会を開催する。また、サポーター間の情報・意見交換も行う。

開催場所：国際交流センター

研修回数：2 回（予定）

日本語教室運営支援

地域の在住外国人を対象とした日本語教室を支援するため、経費の一部を助成する。

助成額：助成対象経費の 4/5 上限 80,000 円

中級日本語教室開設 **新規** (CLAIR多文化共生のまちづくり促進事業助成申請)
在住外国人の日本語能力の向上を図ることで自立支援を促進し、地域社会の一員としてより一層地域に貢献できるよう、中級レベル以上の学習者を対象とした日本語教室を開設する。また、地域の日本語教室でも、中級レベル以上の学習者への支援の充実が図られるよう、カリキュラムを公開し、各教室の活動の幅を広げる一助とする。

開設場所：国際交流センター（予定）

開設時期：前期 12回 後期 12回（各週1回 12週）

(3) 外国人県民の生活支援

外国人相談の実施 **重点**

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題等に関する事など、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置する。

相談窓口設置場所：国際交流センター

相談対応時間：毎日（年末年始（12/29～1/3）・閉館日を除く。）9：00～21：30

対応言語：英語、中国語、スペイン語、韓国語、日本語

目標相談件数：450件

イ 相談専門員の配置

中国語、韓国語での対応が可能な相談員等を配置し、県内在住外国人数が多い中国籍及び韓国・朝鮮籍等の在住外国人からの相談に対応する。

外国人相談専門員：2名（中国1、韓国1）

ウ 外国人定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続などの課題を解決するため、岩手県行政書士会との連携により定期的な相談日を設ける。

開催日：毎月第3水曜日 15：00～18：00

開催場所：国際交流センター

エ 地域巡回相談（県補助）

外国人相談専門員が地域の日本語教室等を巡回し、日本語教室に寄せられる相談への対応を行うことで地域の日本語教室を支援する。また、地域の在住外国人から寄せられる相談の対応や情報提供を行う。

予定訪問件数：10ヶ所

オ 震災復興関連の相談対応

震災に関する相談、またそれに付随した相談に対応するため、被災地に相談窓口を設置し、被災地外国人相談員を配置して対応する。

設置地域：山田町、大槌町、陸前高田市・大船渡市（予定）

多言語サポーターの登録・育成と活用 **重点**

ア 多言語サポーターの登録・活用

在住外国人が日常生活に不便なく生活できるよう、通訳や翻訳などのサポートを行う多言語サポーターを登録し、活用を図る。

活動内容は、災害時又は医療受診時、学校における外国人児童生徒の受入れや生活上の諸手続などでの語学サポートを行う。

また、各地域からの依頼や希少言語の依頼にも対応できるよう、登録者の拡大を図る。

加えて、外国人同士の相互扶助的な活動も必要であることから、自らの経験を踏まえてアドバイスができる経験の豊富な外国人登録者の拡大を図る。

イ 多言語サポーター研修会（県補助）

多言語サポーターの活動に必要な知識や情報の習得、また技術や能力の向上を図るため、研修会を開催する。

ア 在住外国人向け通訳研修

在住外国人の方々が語学面でのサポートのほか同国人へのアドバイスも行う多言語サポーターとして活動する人材の育成を図るために、在住外国人を対象とした通訳研修を開催する。また、研修を通じて在住外国人のネットワーク形成を支援する。

開催場所：国際交流センター及び他 1 地域

研修回数：各 5 回（予定）

イ 分野別通訳研修

登録者のスキルアップを図るため、災害時または医療受診時、学校における外国人児童生徒の受入れ、生活上の諸手続きに関する等に必要な語学サポートについて、分野別の通訳研修を開催する。

開催場所：国際交流センター及び他 1 地域

研修回数：各 6 回（予定）

私費外国人留学生支援

ア 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、県内で行われる国際交流活動又は県内就職支援への取組みに積極的に参加してもらう。

支給期間：平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

支給人数：10 人

奨学金額：40,000 円 / 月

イ 県内就職支援

行政、大学等関係機関と連携し、関係機関へ仲介して個別相談に対応するなど外国人留学生の県内就職を支援する。

連携機関：岩手県外国人留学生就職支援協議会（事務局 岩手大学国際交流センター）

(4) 講座・研修

いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、岩手における今後の国際交流・協力・多文化共生について様々な角度から考える契機とするため、県民等を対象としたセミナーやシンポジウムを開催する

開催場所：国際交流センター

開催回数：6 回

国際理解ワークショップの開催

国際理解を推進するため、当協会作成の「国際理解ハンドブック」を活用するとともに、対象別や外国人との交流などをテーマにしたプログラムを作成し提供する。また、各プログラムを活用した国際理解ワークショップを開催する。

開催回数：5 回（予定）

2 交流による地域づくり

(1) 情報の収集・提供

国際交流・協力・多文化共生に関する図書（ビデオやDVD含む）・情報や物品の収集・提供

ア 国内外の国際交流・協力・多文化共生・留学関係に関する図書や資料・教材を収集し、提供する。

イ 県内各地域で実施されている国際交流・協力・多文化共生事業や県内外における国際交流・協力・多文化共生に関連する外国人を含めた人材等に関する情報を収集し、活用する。

ウ 在住外国人の協力を得るとともに、各国大使館や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料を収集し、提供する。

エ 国別の物品（国旗、民族衣装、楽器、玩具など）を収集し、貸出を行う。

多言語ホームページによる情報提供【再掲】

メーリングリスト「いわてプラネット」の運営

メーリングリスト「いわてプラネット」i-planet@freeml.comを運営し、県内外で行われる国際交流・協力・多文化共生活動などの情報・意見の交換の場として提供する。

多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行 【再掲】

ア 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行【再掲】

イ メールマガジンの発信

メールアドレス登録者には、メールマガジンとして、上記情報紙の内容を提供する。

機関誌「いわて国際交流」の発行

県民の国際交流・国際協力・多文化共生への理解を促進するとともに、在住外国人も含めた県民が一体となって国際交流による地域づくりについて考えることをテーマに、機関誌「いわて国際交流」を発行する。また、岩手の取り組みを広く発信すべく、英語、中国語、韓国語版を発行し、ホームページ等で掲載を行う。

発行部数：4,000部/回（日本語版）

発行回数：2回/年

(2) 国際交流の推進

国際交流センターの運営推進（県委託） **重点**

県から委託を受けて、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターを運営するため、スタッフ及び国際交流補助員等を配置し、センター利用者への助言や支援、情報収集・提供、在住外国人の相談への対応や国際交流や国際理解の事業などを推進する。

開館日及び時間：毎日（年末年始（12/29～1/3）・閉館日を除く）9：00～21：30

スタッフ：7名（英語、中国語対応）

外国人相談専門員：2名（中国語、韓国語）

国際交流等補助員：5名（英語・スペイン語、中国語、韓国語対応）

センター運営サポーターの登録・活用

センター運営サポーターを募集登録し、国際交流センターの運営や協会事業のサポートなどに活用する。

目標登録者数：30人

外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

広く県民と外国人と交流を行う場として、在住外国人等をゲストスピーカーに迎え、文化紹介、スポーツ、季節の行事などをテーマに取り上げて開催する。

開催場所：国際交流センター 他

開催回数：毎月1回

「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催 **重点**

国際交流・協力・多文化共生について、広く一般県民に啓発普及を図るとともに、在住外国人と交流するために、在住外国人やボランティア、国際交流関係団体等と連携・協働して、「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を開催する。

開催場所：国際交流センター及び県内2地域

開催時期：国際交流センター開催 11月(予定) 他地域 未定

事業内容：外国紹介ブース、国際交流団体等の活動紹介、姉妹都市交流の紹介、国際理解ワークショップ、「フェアトレードコミュニティ in いわて」、交流会など。

「身近な国際協力フェア～世界フェアトレードデイ～」の実施

国際協力機構東北支部やフェアトレード団体と連携し、フェアトレードのイベントを通じて国際協力の意識啓発を図る。また、フェアトレードのノウハウを活用した復興支援活動の紹介も行う。

開催場所：アイーナ

開催時期：5月(予定)

外国文化紹介講師派遣 (県補助)

地域住民の国際理解の促進を図るため、県内で開催される国際理解に関する行事等に、国際交流員、海外技術研修員や「いわて留学生大使」等を講師として派遣する。

目標派遣件数；6市町村

ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーを登録し、各市町村協会や団体と連携し、活動の機会を提供する。

8月に岩手で開催される日米学生会議の「岩手プログラム」のホームステイ受入れに対応するためホストファミリー登録者の拡大を図る。

いわて国際化人材の登録・活用

岩手の国際化の推進のため、多様な分野の人材を登録し、国際理解講座や料理講座、通訳・翻訳、日本語学習などに登録者を紹介する。

多様化する依頼に対応できるよう、希少言語の登録者の拡大を図る。

国際交流団体等への活動支援

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動が活発に行われるようにするため、経費の一部を助成する。

助成額：助成対象経費の1/2 上限100,000円

海外とのネットワーク構築

帰国した県国際交流員、海外研修員、いわて留学生大使や各国県人会など岩手とゆかりのある方々から寄せられた近況や在住地域の情報をホームページや情報紙で紹介するとともに、外国の方々にはフェイスブックやメール等で発信し、双方向でのやり取りを通じて世界と岩手をつなぐネットワーク構築を図る。

(3) 国際理解の推進

企画展示

県民に向けて、タイムリーなテーマでの企画展示を実施することによって、岩手と世界との

つながりや環境についての県民の意識を深める機会とする。

開催場所：国際交流センター

開催テーマ：国際リニアコライダー（ILC）、ブラジル県人会設立 55 周年記念及びパラグアイ・イグアス県人会 50 周年記念、日・ASEAN 交流 40 周年、ドイツの環境 他

その他：協会の各国ボックスの活用、県人会やアセアン各国と交流を行っている団体、環境学習交流センター等との連携で実施

(4) 国際交流団体等との連携

国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体の活動の活性化や各団体が抱える課題の解決に向け、相互の意見・情報交換等を行う。

開催場所：国際交流センター及び地域

開催時期：国際交流センター 2 月、地域 随時

国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対し、共催や後援等により支援する。

共催（予定）：いわて多文化こどものキャンプ

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」 **重点**

国際社会で活躍できる次世代の人材を育成するため、海外への留学、スタディツアー参加等を希望する県内在住の高校生、大学生などを対象に、留学などに必要な情報、知識の習得、語学やコミュニケーション能力の向上などを目的とした研修会を開催し、海外への留学等を支援する。

開催場所：国際交流センター 他

内容： 基本講座

- ・留学体験者などを講師に招き講演会を開催し、留学の意義について考える。
- ・海外に向けて、様々な角度から岩手の歴史文化や震災後の岩手について発信するための知識、発信能力を学ぶ。

語学講座

- ・語学力とともに、コミュニケーション能力の向上を図る。

実践講座

- ・8月に開催される第65回日米学生会議「岩手プログラム」に参加することにより、国内外の学生とともに、様々なテーマでディスカッションを行い交流を図る。
- ・県内在住の留学生などとともに「留学疑似体験」の合宿研修を行うことにより、実践的な語学力の向上や異文化適応能力を育む。

留学セミナー

- ・留学などに関する情報を提供するとともに、留学体験者などの講演を行う。

インターンシップ・プログラム

本協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するため、県内在住の大学生、高校生などを対象とするインターンシップ・プログラムを実施する。

いわてグローバル・カレッジの開催【再掲】

国際理解ワークショップの開催【再掲】

地域国際化リーダー研修会の開催（県補助）

地域での国際交流や在住外国人との多文化共生の推進に向けて、国際交流関係団体（市町村国際交流協会含む）の職員等を対象に、国際交流事業に携わるにあたり必要な知識や情報の習得を目的に研修会を開催する。

開催場所：国際交流センター

開催時期：2月(予定)

テーマ：「これからの岩手の国際化」(予定)

(2) 海外研修員等の受入れ

海外研修員等のサポート（県委託）

県の委託を受けて、県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び県費留学生、海外技術研修員の研修等がスムーズに行われるよう、研修機関との連絡調整や、岩手における生活を充実して過ごし、本県の良き理解者・支援者となるようサポートする。

海外技術研修員： 国/アルゼンチン（女性） 職種/指圧

海外自治体職員研修員： 国/中国（受入中：女性、受入予定：男性）

4 震災被災地復興の支援

(1) 外国人相談の実施 **【再掲】重点**

震災に関する相談、またそれに付随した相談に対応するため、相談窓口を設置するとともに、被災地に被災地外国人相談員を配置し対応する。

設置地域： 山田町、大槌町、陸前高田市・大船渡市（予定）

(2) 震災地域団体支援 **重点**

被災地で、地域の国際交流活動が再開できない状況の地域があることから、野田村、山田町及び大槌町において、国際交流の切り口から地域の活性化に貢献することを目的に、各地域の様々な活動を実施している団体と連携し交流イベントを開催する。

(3) 日米学生会議「岩手プログラム」

日本とアメリカの学生の交流プログラム「日米学生会議」の一環で実施される「岩手プログラム」の実施を支援する。

「岩手プログラム」では、被災地を訪れ、復興活動を行っている地元住民や学生との意見交換などを通じて復興状況について理解を深めてもらう。

期間：8月12日～19日

(4) アイーナ復興バザーの開催

アイーナ入居施設が連携して取り組むアイーナ復興バザーに参加し、被災地復興支援に向けた復興バザーを開催する。その際、被災地の復興支援に関わる活動紹介なども行う。

開催日時：6月19日及び10月6日